

岩手医科大学附属病院の院外処方せんに印字される検査値一覧（基準値2024年1月時点）

略名	検査項目名	基準値	単位	検査の説明
WBC	白血球数	3.3～8.6	×10 <sup>3</sup> /μL	感染症などの炎症や血液疾患等で異常を示します。
NEUT	好中球数	0.99～6.02	×10 <sup>3</sup> /μL	白血球の一種で、感染症、炎症等で増加します。
Hb	ヘモグロビン（血色素量）	男性：13.7～16.8 女性：11.6～14.8	g/dL	貧血や多血症の診断などを推測できます。
PLT	血小板数	158～348	×10 <sup>3</sup> /μL	出血傾向などを推測できます。
PT-INR	プロトロンビン時間（標準比）	0.9～1.1	—	血液の凝固能を示します。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13～30	U/L	肝臓や心臓等の障害で増加します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男性：10～42 女性：7～23	U/L	肝臓の障害で増加します。
T-Bil	総ビリルビン	0.4～1.5	mg/dL	黄疸の指標になります。
CRE	血清クレアチニン	男性：0.65～1.07 女性：0.46～0.79	mg/dL	腎機能が悪くなると増加します。また、筋肉量も反映します。
eGFR	推算糸球体濾過量	—	mL/分/1.73m <sup>2</sup>	血清クレアチニン値から計算された腎機能の指標です。体表面積1.73m <sup>2</sup> あたりの値で表示されます。
CK	クレアチンキナーゼ	男性：59～248 女性：41～153	U/L	筋肉に含まれる酵素で、心筋梗塞や筋肉の障害があると増加します。
CRP	C-反応性蛋白	0～0.14	mg/dL	炎症や組織の障害等で増加します。
HbA1c	ヘモグロビンA1c（NGSP）	4.9～6.0	%	血糖コントロールの指標です。
K	カリウム	3.6～4.8	mmol/L	血液中の電解質の濃度です。
Na	ナトリウム	138～145	mmol/L	血液中の電解質の濃度です。
Ca	カルシウム	8.8～10.1	mg/dL	骨の病気やさまざまな内分泌の病気で異常を示します。
Alb	アルブミン	4.1～5.1	g/dL	肝臓で合成されるタンパク質です。栄養状態の悪化や肝臓の障害、ネフローゼなどで低下します。
Mg	マグネシウム	1.8～2.3	mg/dL	生体の代謝調節に必要な微量元素であり、腎機能が悪くなると増加します。
UA	尿酸	男性：3.7～7.8 女性：2.6～5.5	mg/dL	核酸の代謝物であり、高値の場合は痛風などを発症することがあります。